# 須賀小学校地域拠点施設基本計画書（仮）

## 概要版

宮代町・株式会社　東畑建築事務所

## 1. 基本計画の方針

### 1-1. 計画の背景と目的

「首都圏でいちばん人が輝く町」を掲げる宮代町では、「第 5 次宮代町総合計画」（令和 3 年度～令和 12 年度、以下 5 次総）の前期実行計画において、須賀小地域拠点施設の整備事業（※1）が位置付けられました。また、「第2期 公共施設マネジメント計画」（令和 4 年 3 月、以下、公共施設マネジメント計画）では、学校を中心とする「地域の中心施設」の考え方が示され、あわせて、地域のコーディネーターの必要性と、エリア内のヒト・コト・モノをつなげて新たな活動を創出していく重要性にも触れられています。さらに、「宮代町立小中学校適正配置計画」（平成 28 年 3 月）（以下、適正配置計画）において、本町内の小中学校の再編計画が策定されましたが、その後の計画の再検討等を踏まえ、東小と笠原小及び、3 つの中学校の再編については、令和 9 年度以降に改めて再検討されることとなりました。

以上の背景を踏まえて、「須賀小学校地域拠点施設基本構想」（令和 5 年 6 月）（以下、基本構想）が策定されました。この基本構想を指針とした、基本計画の目的は、施設に集約する具体的な機能や、地域拠点としての共有の仕方を検討するとともに、必要な諸室とその面積の検討を行い、本計画における合築の良さを探求することです。そして、今後の基本設計・実施設計に向けた基本的な方針をまとめることです。

### 1-2. 計画の進め方

町内で複数の課を横断して結成されたプロジェクトチームのメンバーとともに、学校施設のあり方及び、地域コミュニティ施設の使われ方等を検討するため、住民ヒアリング、有識者シンポジウム、地域・教職員・議員ワークショップ、団体ヒアリングを行いました。小学校と地域施設が合築した時に、その場でどのような活動ができるか、どのような新しい活動ができそうかを、参加者のみなさんと広く話し合いました。

話し合いの場づくりは、コミュニティデザイナーを中心に、参加者がワクワクし、未来を見据えた意見交換ができるような仕掛けを考えながら進めていきました。

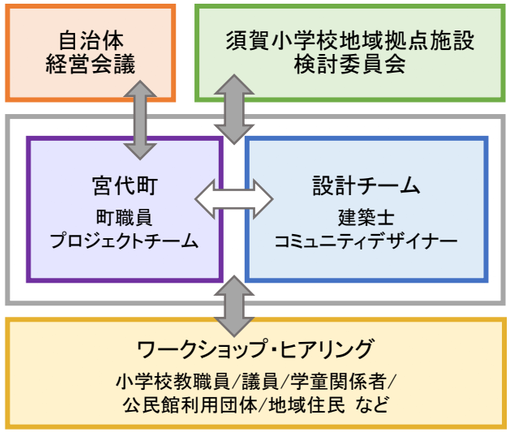



図 1　体制図

写真 1　住民ヒアリングの様子



写真 2　住民ヒアリングの様子

写真 3　住民ヒアリングの様子

写真 4　住民ヒアリングの様子

表 1　ヒアリング・ワークショップ実施概要（令和 5 年度）

| 内容 | 日時 | 参加者 |
|---|---|---|
| 住民ヒアリング | ・8 月 9 日（水）～8 月 11 日（金）<br>・8 月 28 日（月）～8 月 30 日（水）<br>・9 月 10 日（日） | 計<br>30 名 |
| 有識者<br>シンポジウム | ・9 月 23 日（土） | 70 名 |
| 地域<br>ワークショップ | 第 1 回：10 月 21 日（土）<br>第 2 回：11 月 11 日（土）<br>第 3 回：12 月 16 日（土） | 60 名<br>50 名<br>56 名 |
| 教職員<br>ワークショップ | 第 1 回：11 月 16 日（木）<br>第 2 回：11 月 30 日（木） | 20 名<br>16 名 |
| 公民館利用団体<br>ヒアリング | 第 1 回：12 月 13 日（水）<br>第 2 回：12 月 14 日（木） | 7 名<br>9 名 |
| 学童ヒアリング | ・12 月 17 日（日） | 8 名 |
| 児童ワークショップ | 未定 | 未定 |
| 議員ワークショップ | 第 1 回：10 月 5 日（木）<br>第 2 回：10 月 19 日（木） | 4 名<br>7 名 |
| 先行事例視察 | ・10 月 25 日（水）～26 日（木） | 13 名 |
| 検討委員会<br>（基本構想より継続） | 第 4 回：8 月 17 日（木）<br>第 5 回：12 月 14 日（木）<br>第 6 回：1 月 24 日（水） | 21 名<br>28 名<br>未実施 |
| 検討委員事例視察 | ・1 月 24 日（水） | 未実施 |

写真 5　シンポジウムの様子

写真 6　議員ワークショップの様子

写真 7　住民ヒアリングの様子

写真 9　公民館利用団体ヒアリングの様子

写真 8　地域ワークショップの様子

写真 10　教職員ワークショップの様子

（※1）宮代町立小中学校適正配置事業、地域の力となる地区コミュニティセンター事業

## 2. 基本計画の概要

### ▮2-1. 計画のポイント

宮代町は、公共施設マネジメント計画と適正配置計画において、小学校を中心に地域拠点施設を併設し再整備していく方針を定めています。この地域拠点施設のイメージは、公共施設マネジメント計画に示されています（図2）。この図中の「共用機能」と「可変機能」は、地域拠点施設内で小学校機能と公民館機能と学童機能とを相互につなぐ“共有機能”といえ、そこをどう充実させるかが重要なポイントだと考えます。

また、地域コミュニティにとって必要な3つの要素については、公共施設マネジメント計画及び基本構想で言及されています（図3）。これまでの学校や公民館、学童保育所にはなかった、1)目的に合わせた多様な機能、2)ふらっと気軽に立ち寄れる雰囲気づくり、3)合築ならではのサポートや仕組み、ルールを作っていくことも重要なポイントだと考えます。

なお、基本構想においては、基本理念（キャッチフレーズ）が、「かえでの木の下　子どもと大人が共に学び　共に育つ　―　須賀小エリアに活動を生み出す　みんなの学校　―」と掲げられました。

基本計画では、これまで議論を重ねられていた方針を踏襲しながら、各機能の諸室関係を整理しました。

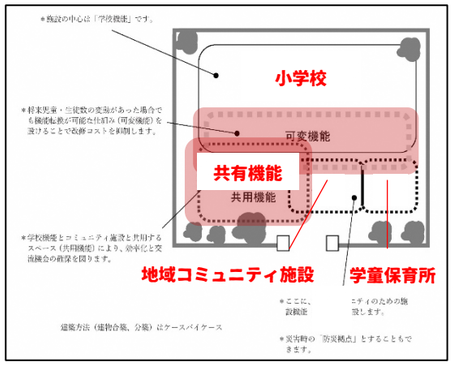



図2 「地域の中心施設」のイメージ
（公共施設マネジメント計画より）

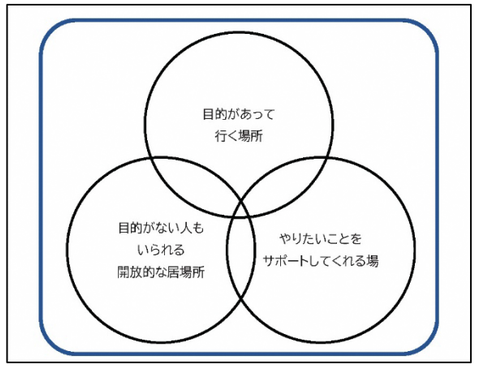



図3 地域コミュニティにとって必要な３つの要素
（公共施設マネジメント計画/
須賀小学校地域拠点施設基本構想より）

### ▮2-2. 住民意見の整理

複数回のヒアリング・ワークショップを行い、地域住民、教職員、公民館利用団体、学童関係者から幅広く意見を収集しました。特に、本計画のワークショップでは参加者の声の聴き出し方に独自性があります。須賀小学校に残る「どんぐりピアノ」のエピソードになぞらえて、自分の“どんぐり（資源）”と町の“どんぐり（資源）”を拾い合わせ、新たな“ピアノ（未来）”を創っていくことを考えました。声を聴いていくうちに、自分の“どんぐり”と誰かの“どんぐり”とがコラボレーションし始めることもあり、未来の須賀小地域拠点施設で実際に行われるであろう活動につながる意見や想いを伺い知ることができました。

また、現在の活動、これからしてみたい活動について参加者に伺っていくと、地域にとって小学校にある特別教室の需要が高そうだということが分かってきました。小学校と公民館、学童保育所の合築するにあたり、積極的に共有室を設けられそうだという可能性も見えてきました。

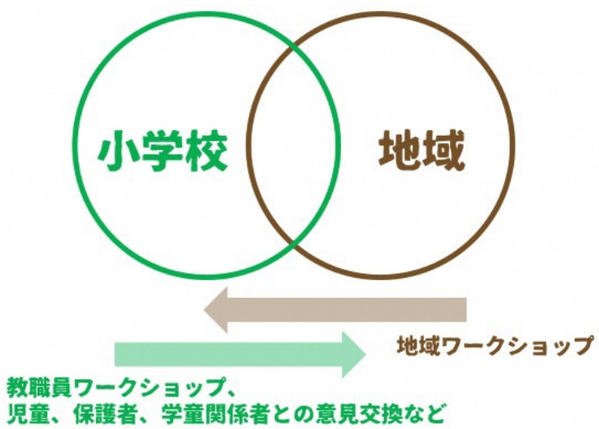



図4 どんぐりとピアノ会議の全体像

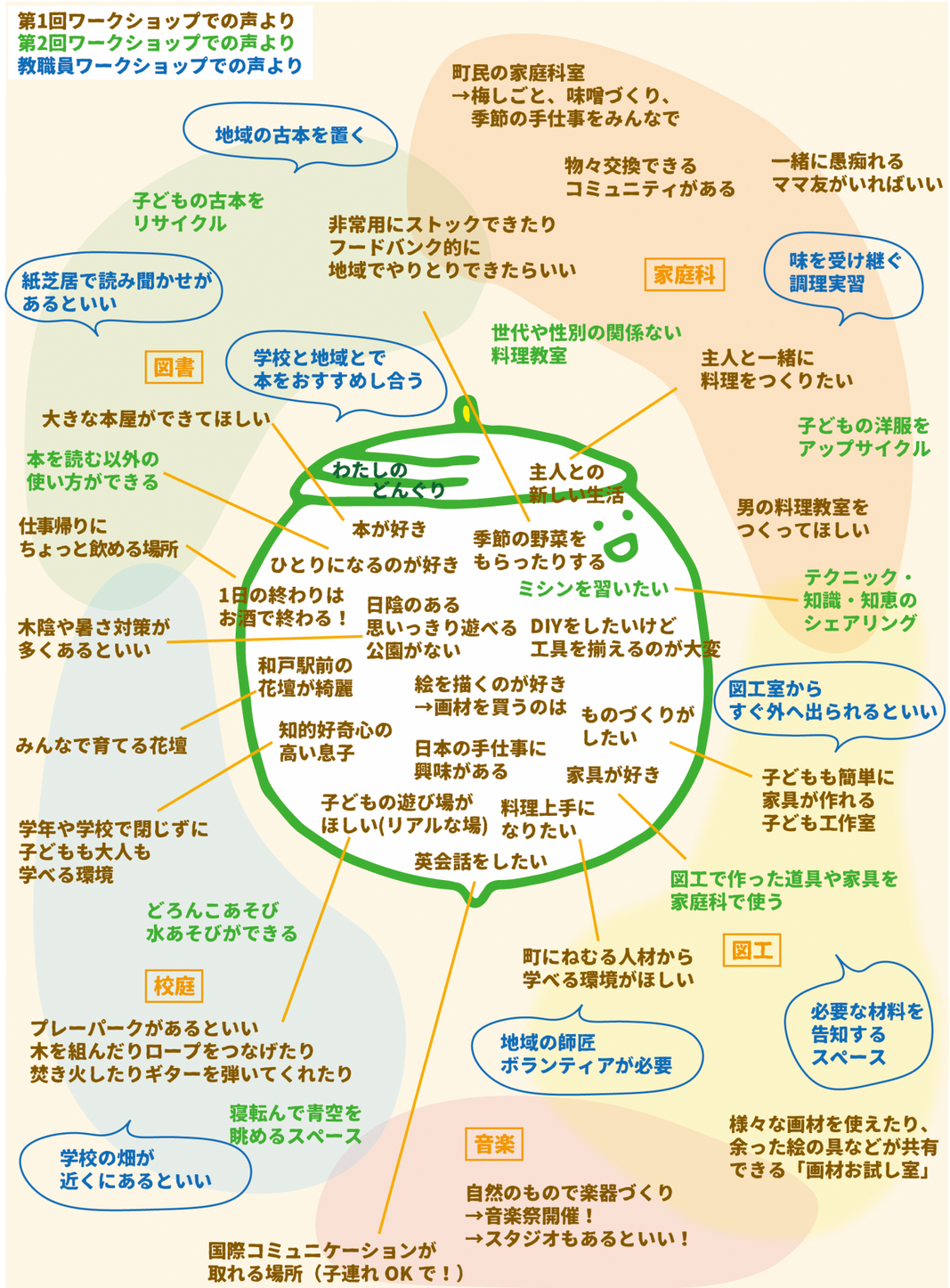


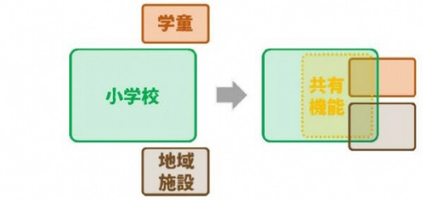

図5 ワークショップでの意見（一部抜粋）

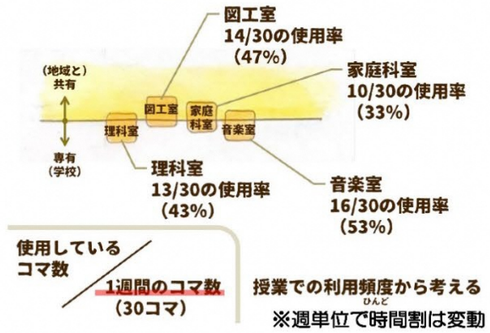
## 2-3. 共有部分の考え方

小学校・学童保育所・公民館の３つの機能を相互利用し施設規模の縮小を図るために、各種ヒアリング・ワークショップを通じて、共有部分の可能性を検討しました。

小学校の時間割から、特別教室の稼働率を計算してみると 33～53%と、週の約半分が未使用となっていることが分かりました。

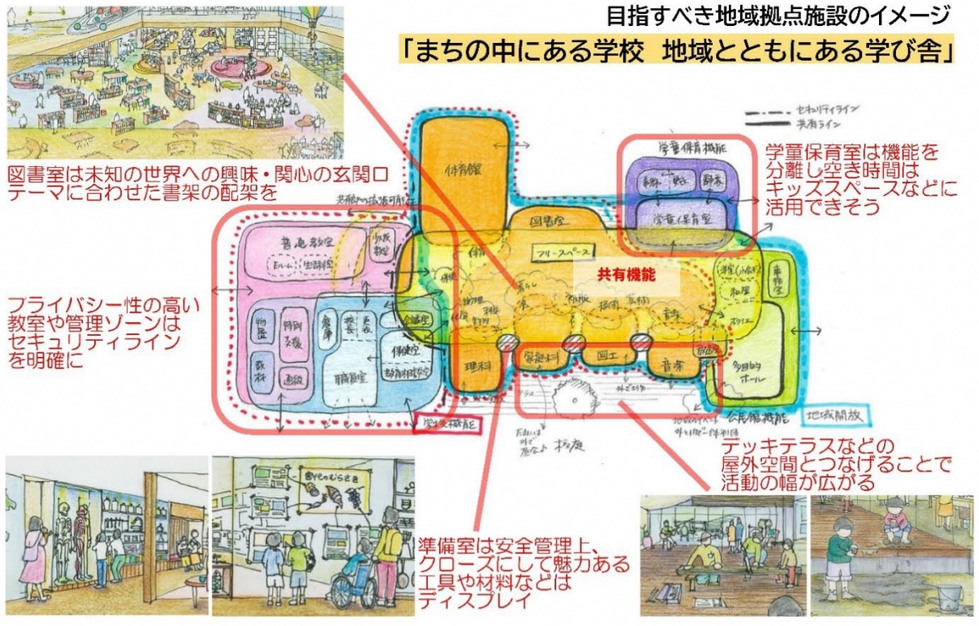
施設全体を使い倒していくことを考えると、日中活動する児童、公民館を利用する地域住民、学童保育所を利用する児童、放課後の児童のあそび場・居場所として小学校の特別教室を積極的に開放することは、施設全体を使い倒していく上で有効だと考えられます。




目指すべき地域拠点施設のイメージ

**「まちの中にある学校　地域とともにある学び舎」**




- 特別教室と共有部を隣接させることで、地域と学校との交流が生まれやすく、使い方の多様性にも対応できる空間づくり。
- さらに、特別教室を屋外（デッキテラス等）とも隣接させることで、活動の幅をひろげる。
- また、図書室の機能（静かでなくても大丈夫なもの）を共有部に入れ込むことで、省スペースの実現だけでなく、特別教室での活動テーマに沿った図書の配架も可能に。
- 学童保育室の空き時間も活用できるようにするため、共有部と隣接する位置に配置。
- 安全管理に配慮し、各特別教室の準備室はクローズドな環境に。
- 多目的ホールや和洋室など、地域コミュニティ施設機能も、共有部と隣接する位置に配置。

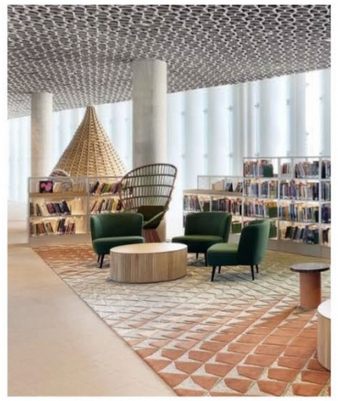
### ＜共有部分　参考イメージ＞（オスロ公共図書館/ノルウェー）

未来の図書館。そう称されることの多い、公共図書館。

図書館機能だけでなく、市民の集まる場所として、映画館、音楽ルーム、３D プリンターやミシンなどが備えてあるメイカーズスペース・メディアワークショップ・ゲームエリア・ラウンジやカフェやレストランを提供している。

「知識は書籍からのみ得られるものではなく、感覚を総動員させ、五感全てを活性化させ体を動かし、さまざまな人やものとインタラクションすることでも得られるもの」という新しい価値観を提供しており、【本を読まない、新しい図書館】と捉えることもできる。

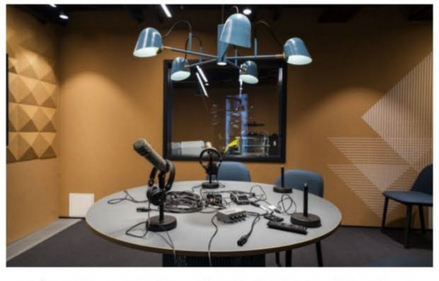
書架やテーブルがオープンスペースに広がっているイメージ



快適な読書エリア

フリースペースには、ミシンのある机や作業台もあり、一緒に活動をしている風景が見られる

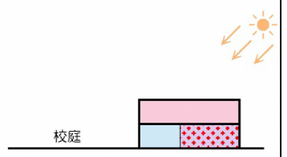
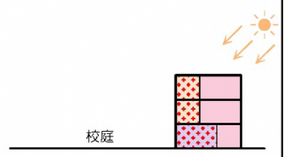
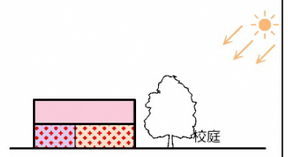
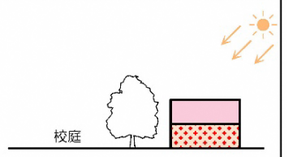
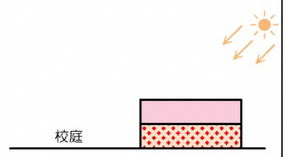
書棚の中にメイカーズスペースがあり、図書空間と一体化しており親和性が高くなっている



メディアルームでは、ポッドキャスト（ネット配信による番組）作成もできる

電子楽器などの大きな音の出ない楽器もフリースペースに置かれている

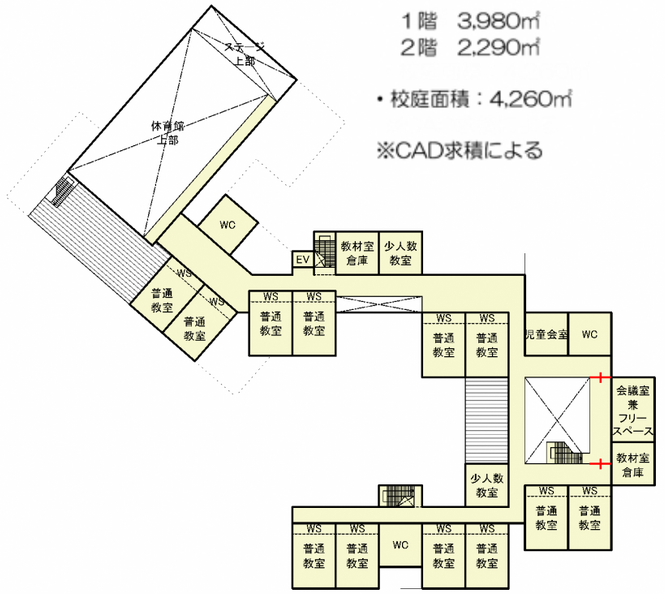
## 2-4. 配置案

| プラン名/階数 | 南東配置型/2階建 | 南東配置型/3階建 | 北西配置型/2階建 | カエデ囲み型/2階建 | 北東配置型/2階建 |
|---|---|---|---|---|---|
| 平面イメージ | | | | | |
| 断面イメージ |  |  |  |  |  |
| ① 児童の通学動線<br>主要アクセス(徒歩)：北西側道路 | × 北西側道路から校舎までが遠い | × 北西側道路から校舎までが遠い | ○ 北西側道路からアクセスしやすい | ○ 北西側道路からアクセスしやすい | ○ 北西側道路からアクセスしやすい |
| ② 地域住民の動線<br>主要アクセス(徒歩・自転車)：北西側道路 | ○ 公民館機能の近くに駐車場を配置<br>△ 徒歩・自転車の利用者は敷地内で移動が必要 | ○ 公民館機能の近くに駐車場を配置<br>△ 徒歩・自転車の利用者は敷地内で移動が必要 | ○ 公民館機能の近くに駐車場を配置<br>○ 徒歩・自転車の利用者がアクセスしやすい | ○ 公民館機能の近くに駐車場を配置<br>△ 徒歩・自転車の利用者は敷地内で移動が必要 | ○ 公民館機能の近くに駐車場を配置<br>△ 徒歩・自転車の利用者は敷地内で移動が必要 |
| ③ 学童保育の動線 | ○ 敷地内で送迎対応できる<br>△ 徒歩・自転車の利用者は敷地内で移動が必要 | ○ 敷地内で送迎対応できる<br>△ 徒歩・自転車の利用者は敷地内で移動が必要 | ○ 敷地内で送迎対応できる<br>○ 徒歩・自転車の利用者がアクセスしやすい | ○ 敷地内で送迎対応できる<br>△ 徒歩・自転車の利用者は敷地内で移動が必要 | ○ 敷地内で送迎対応できる<br>△ 徒歩・自転車の利用者は敷地内で移動が必要 |
| ④ 災害時の体育館への避難・物資搬入の動線 | ○ 体育館が駐車場に隣接し、災害時の対応がしやすい | ○ 体育館が駐車場に隣接し、災害時の対応がしやすい | △ 体育館から駐車場が遠い | ○ 体育館が駐車場に隣接し、災害時の対応がしやすい | ○ 体育館が駐車場に隣接し、災害時の対応がしやすい |
| ⑤ 冬期の北西風の影響 | × 校舎と校庭に北西風<br>校庭の砂が校舎内に入り込む可能性が高い | × 校舎と校庭に北西風<br>校庭の砂が校舎内に入り込む可能性が高い | △ 校舎に北西風が直撃する | △ 校舎の角度を工夫し、北西風の影響を受けにくい<br>校庭に北西風があたる | △ 校舎の角度を工夫し、北西風の影響を受けにくい<br>校庭に北西風があたる |
| ⑥ 校庭の確保 | △ 整形で確保<br>雨天後の乾燥に時間がかかる | △ 整形で確保<br>雨天後の乾燥に時間がかかる | △ 整形で確保<br>学校開放スポーツも条件付きで対応可能 | △ 不整形ではあるが必要な校庭の広さを確保<br>学校開放スポーツも条件付きで対応可能 | △ 不整形ではあるが必要な校庭の広さを確保<br>学校開放スポーツも条件付きで対応可能 |
| ⑦ 仮設校舎の有無 | ○ 仮設校舎の建設は不要 | ○ 仮設校舎の建設は不要 | × 仮設校舎を要する | ○ 仮設校舎の建設は不要 | ○ 仮設校舎の建設は不要 |
| ⑧ 現中学校との関係 | × 中学生の主要動線(北西側道路)から離れるため関係が希薄に | × 中学生の主要動線(北西側道路)から離れるため関係が希薄に | ○ 北西側道路と中学校校庭から施設へ出入りしやすい | ○ 北西側道路と中学校校庭から施設へ出入りしやすい | ○ 北西側道路と中学校校庭から施設へ出入りしやすい |
| ⑨ 校舎内の環境 | × 南東に面し比較的日当たりはいいが、冬期は北西風が直撃する | × 南東に面し比較的日当たりはいいが、冬期は北西風が直撃する | × 南東に面し比較的日当たりはいいが、冬期は北西風が直撃する | ○ 日当たりがよく、風通しも良い | × 建物の奥行きが深く日当たりと風通しが悪い |
| ⑩ 共有のしやすさ | ○ セキュリティラインを設定しやすく、共有しやすい | × 共有室が３層にまたがり、上階は利用しにくい<br>セキュリティラインが難しい | ○ セキュリティラインを設定しやすく、共有しやすい | ○ セキュリティラインを設定しやすく、共有しやすい | ○ セキュリティラインを設定しやすく、共有しやすい |
| ⑪ 校舎内の交流しやすさ | ○ 2階の1フロアに6学年がまとまるため交流しやすい | △ ６学年が２フロアに分断 | ○ 2階の1フロアに6学年がまとまるため交流しやすい | ○ 2階の1フロアに6学年がまとまるため交流しやすい | ○ 2階の1フロアに6学年がまとまるため交流しやすい |
| ⑫ カエデの木の扱い | × 新たにカエデの木を植樹する必要あり | × 新たにカエデの木を植樹する必要あり | ○ カエデの木を存置可能 | ○ カエデの木を活かした配置 | × 新たにカエデの木を植樹する必要あり |

外構に屋敷林を配置するなどの工夫次第で対応可能

## 2-5. カエデ囲み型を基とした平面プラン（仮案）と具体例

1階平面図




2階平面図

- 敷地面積：13,231.61㎡
- 延べ面積：6,270㎡

1階　3,980㎡
2階　2,290㎡

- 校庭面積：4,260㎡

※CAD求積による

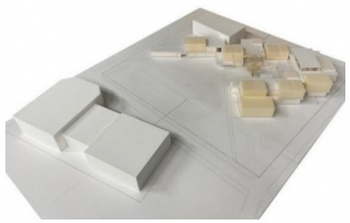


写真 11　模型写真

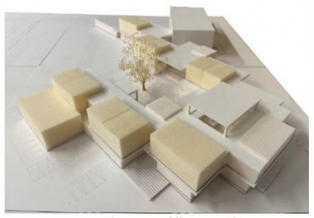
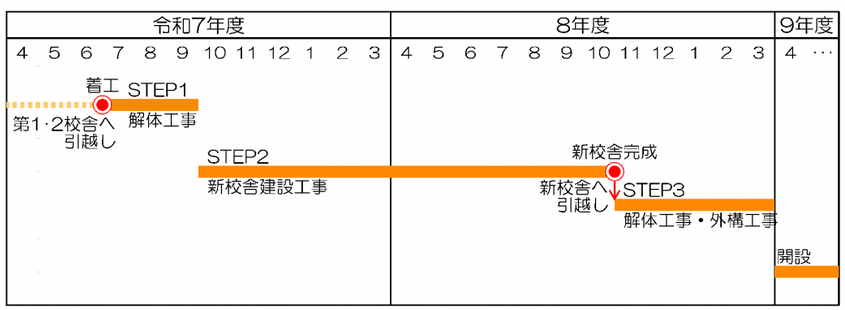


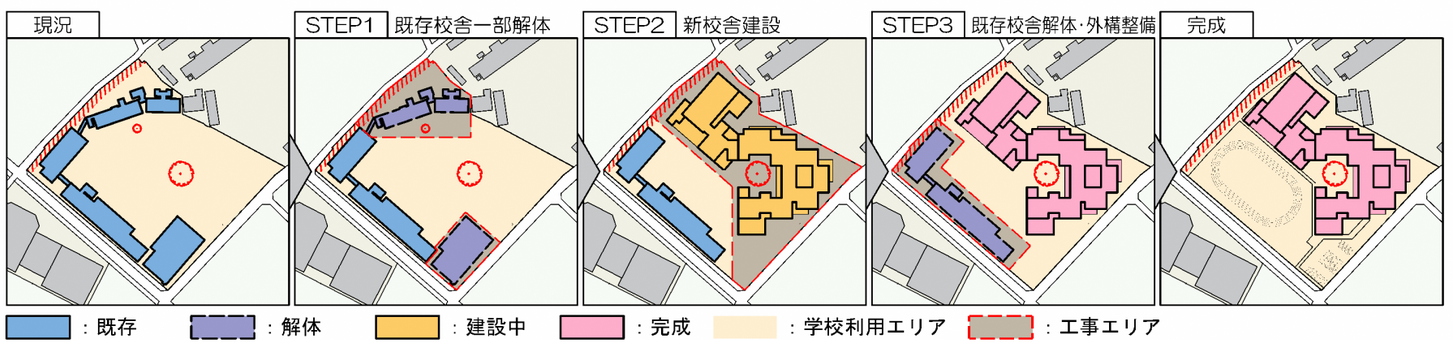
写真 12　模型写真

凡例

- ：学校エリア
- ：公民館エリア
- ：学童エリア
- ：セキュリティライン

### ＜上記具体例に基づく工事手順（案）＞



## 2-6. 諸室面積リスト

赤字：要確認事項

### ■既存

| | 部屋<想定> | | 室数 | 室面積小計(㎡) |
|---|---|---|---|---|
| 小学校 | 普通教室 | 普通教室 | 12 | 755.20 |
| | | 算数学習室 | 2 | 124.80 |
| | 特別支援教室 | 特別支援教室 | 2 | 124.80 |
| | 特別教室 | 図工室 | 1 | 93.60 |
| | | 音楽室 | 2 | 146.00 |
| | | 家庭科室 | 1 | 93.60 |
| | | 図書室 | 1 | 62.40 |
| | | 閲覧室 | 1 | 62.40 |
| | | PC室 | 1 | 62.40 |
| | | 理科室 | 1 | 81.00 |
| | | 生活科室 | 1 | 65.00 |
| | | Eルーム | 1 | 62.40 |
| | | 多目的室 | 1 | 65.00 |
| | | 郷土資料室 | 1 | 63.00 |
| | 管理諸室 | 職員室（35人） | 1 | 83.00 |
| | | 校長室 | 1 | 32.00 |
| | | 会議室（35人） | 1 | 62.40 |
| | | 小会議室 | 1 | 63.00 |
| | | 放送室 | 1 | 93.60 |
| | | 保健室 | 1 | 62.40 |
| | | 児童会室 | 1 | 62.40 |
| | | 教育相談室 | 1 | 62.40 |
| | | PTA室・事務用品室 | 1 | 40.00 |
| | | 配膳室 | | – |
| | | 備品室・食糧備蓄庫 | 1 | 62.40 |
| | | 物置・倉庫 | | – |
| | 学童保育所 | かえで第二児童クラブ | 2 | 124.80 |
| | 室面積　合計 | | | – |
| | 共用部 | 廊下・階段・機械室等 | | – |
| | 床面積 | | | 6530.24 |
| | 公民館 | 洋室（小） | 1 | 24.50 |
| | | 洋室（大） | 1 | 180.00 |
| | | 和室 | 1 | 81.00 |
| | | 物置・倉庫 | | – |
| | 室面積　合計 | | | – |
| | 共用部 | 廊下・階段・機械室等 | | – |
| | 床面積 | | | 760.06 |
| | 学童保育所 | かえで第一児童クラブ | | 167.00 |
| | 屋内体育館 | | | 1003.00 |

**東畑実績より、**
**総面積に対する共用部(玄関、廊下、トイレなど)**
**面積の割合**
- 魚津市立星の杜小学校：43%
- 敦賀市立角鹿小中学校：41%
- 新城市立作手小学校　：40%
  ※体育館とランチルームを除く
（作手交流館(31%)も含めて37%）

### ■基本計画（新設）

| | 部屋<想定> | | 共有室 | 室面積(㎡)<想定> | 室数 | 室面積小計(㎡) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 小学校 | 普通教室 | 普通教室（ﾜｰｸｽﾍﾟｰｽを含む） | | 88.00 | 12 | 1056.00 | 教室：64㎡、ワークスペース：24㎡ |
| | | 多目的教室（算数学習室） | | 64.00 | 2 | 128.00 | 外国語教室を兼ねる。 |
| | 特別支援教室 | 特別支援教室（ﾜｰｸｽﾍﾟｰｽを含む） | | 64.00 | 2 | 128.00 | |
| | 特別教室 | 図工室+準備室 | ○ | 128.00 | 1 | 128.00 | 教室：96㎡、準備室：32㎡ |
| | | 音楽室+準備室 | ○ | 128.00 | 2 | 256.00 | 教室：96㎡、準備室：32㎡ |
| | | 家庭科室+準備室 | ○ | 128.00 | 1 | 128.00 | 教室：96㎡、準備室：32㎡ |
| | | 学校図書館（図書室） | ○ | 256.00 | 1 | 256.00 | |
| | | 理科室+準備室 | | 128.00 | 1 | 128.00 | 教室：96㎡、準備室：32㎡ |
| | | 生活科室 | | 0.00 | 1 | 0.00 | 少人数教室を利用。生活科の授業を普通教室で実施？ |
| | | 外国語教室（Eルーム） | | 0.00 | 1 | 0.00 | 少人数教室を利用。 |
| | | 多目的室 | | 0.00 | 1 | 0.00 | 学校の会議室、または、地域側の多目的ホールを利用。 |
| | | 郷土資料室 | | 64.00 | 1 | 64.00 | 削減可能か？ |
| | 管理諸室 | 職員室（35人） | | 288.00 | 1 | 288.00 | 単位面積：8㎡/人 |
| | | 校長室 | | 32.00 | 1 | 32.00 | |
| | | 会議室（35人） | ○ | 128.00 | 1 | 128.00 | 単位面積：3㎡/人、多目的室を兼ねる。 |
| | | 小会議室 | | 0.00 | 1 | 0.00 | 地域側の洋室を利用。 |
| | | 放送室 | | 32.00 | 1 | 32.00 | |
| | | 保健室 | | 64.00 | 1 | 64.00 | |
| | | 児童会室 | | 64.00 | 1 | 64.00 | |
| | | 教育相談室 | | 32.00 | 1 | 32.00 | |
| | | PTA室・事務用品室 | ○ | 32.00 | 1 | 32.00 | |
| | | 配膳室 | | 96.00 | 1 | 96.00 | |
| | | 教材室・エコルーム | | 32.00 | 2 | 64.00 | |
| | | 備品室・食糧備蓄庫 | | 32.00 | 1 | 32.00 | |
| | | 職員更衣室 | | 64.00 | 1 | 64.00 | |
| | | 物置・倉庫 | | 64.00 | 1 | 64.00 | |
| | 地域コミュニティ施設 | 洋室 | ○ | 32.00 | 1 | 32.00 | 学校側の小会議室を兼ねる。 |
| | | 和室 | ○ | 96.00 | 1 | 96.00 | |
| | | 多目的ホール | ○ | 192.00 | 1 | 192.00 | 旧洋室(大)。 |
| | | 物置・倉庫 | | 32.00 | 1 | 32.00 | |
| | | 事務室 | | 32.00 | 1 | 32.00 | |
| | 学童保育所 | 学童保育室（定員120人） | ○ | 200.00 | 1 | 200.00 | 単位面積：1.65㎡/人 |
| | | 静養室 | | 32.00 | 1 | 32.00 | |
| | | 更衣室 | | 32.00 | 1 | 32.00 | |
| | | 事務室(13名) | | 32.00 | 1 | 32.00 | 単位面積：4㎡/人 |
| | | 物置・倉庫 | | 64.00 | 1 | 64.00 | |
| | 室面積　合計 | | | | | 4008.00 | |
| | 共用部 | 廊下・階段・機械室等 | | | | 1603.20 | 室面積の40%と仮定 |
| | 床面積 | | | | | 5611.20 | |
| | 屋内体育館 | 屋内体育場（ステージ含む） | | | | – | |
| | | 器具庫 | | | | – | |
| | | トイレ・手洗い等 | | | | – | |
| | | 更衣室 | | | | – | |
| | | エントランス | | | | – | |
| | 床面積 | | | | | 800.00 | |
| | 全体床面積 | | | | | 6411.20 | 面積限度（補助金）：6,363 ㎡ |

※共有・共用部の設計上の工夫により、今後面積の削減を検討していく。

## 3. 今後の進め方

### ■3-1. 事業スケジュール

- 令和 6 年度　基本設計・実施設計
- 令和 7 年度　解体・建築
- 令和 8 年度　解体・建築
- 令和 9 年度　須賀小学校地域拠点施設開校・開設

### ■3-2. 基本設計に向けての課題

- 共有室の整理
- 共用部面積の合理化（面積削減）
- 防災機能の検討
- 中学校とのつながり
- 地域コミュニティセンター開設までの流れ

## 4. 概算工事費

| 施設名 | 面積 | 備考 |
|---|---|---|
| 校舎 | 5,350㎡ | 令和5年度公立学校施設等の総括表(文科省)より |
| 屋内運動場 | 1,003㎡ | 令和5年度公立学校施設等の総括表(文科省)より |
| 和戸公民館 | 436㎡ | 公有財産総括台帳より |
| 学童保育所 | 282㎡ | 既存図面より |
| 合計 | 7,071㎡ | |
| | ↓10%減 | |
| 面積限度 | 6,363㎡ | |